

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 6 月 13 日現在

機関番号：34315

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2010～2012

課題番号：22730318

研究課題名(和文) 東アジア3カ国・地域の経済環境における華人企業の戦略構築に関する比較研究

研究課題名(英文) Comparison research on building strategy of overseas Chinese enterprises under economic environments in three east Asian countries

研究代表者

守 政毅 (MORI MASAKI)

立命館大学・経営学部・准教授

研究者番号：00434704

研究成果の概要(和文)：

本研究では、アジアで高いプレゼンスを示してきた華人企業を対象に、従来の経済学や社会学の研究成果を補完しながら、経営戦略の視点からの分析を試みた。

アジアを基盤とする代表的な華人企業の経営戦略を対象に、経営戦略論の枠組みを適用し、香港、シンガポール、マレーシアのマクロ経済環境と各華人企業家が持つ経営資源を活用した環境創造と能力蓄積という視点で、経営成果をとらえ直した。そして、それらが相互作用した結果として、経済環境に適応する戦略構築能力から生じていることを明らかにした。つまり、香港・シンガポール・マレーシアの華人企業は、各国・地域の経済と産業の成長構造に対して、経済環境にうまく適応しながら事業を発展させる戦略構築が観察され、それを補完する企業家ネットワークの利用、組織マネジメントといった華人企業独自のメカニズムが埋め込まれていることを明らかにした。

研究成果の概要(英文)：

In this research, the analysis from the aspect of the management strategy was tried while supplementing study results of economics and sociology for the overseas Chinese enterprises that had shown high presence in Asia.

It is tried to apply the frame of the management strategy theory for the management strategy of typical overseas Chinese enterprises that are based in Asia, and analyzes their management performance from the views of both the macroeconomic environment of Hong Kong, Singapore and Malaysia, and the environmental creation and the ability accumulation which are created by management resources of each overseas Chinese entrepreneur. It was clarified to cause it from the strategy construction ability to adjust to the economic environment as a result of those interactions. In a word, the overseas Chinese enterprises in Hong Kong, Singapore and Malaysia are developing their business while adjusting to economy in each country and the region and the growth structures of industry, and peculiar mechanisms like the entrepreneur network and the organization management are imbedded.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	500,000	150,000	650,000
2011年度	600,000	180,000	780,000
2012年度	500,000	150,000	650,000
年度			
年度			
総計	1,600,000	480,000	2,080,000

研究分野：経営学

科研費の分科・細目：経営学・経営学

キーワード：華人企業、戦略構築、東アジア、香港:シンガポール:マレーシア

1. 研究開始当初の背景

アジアは民族的・宗教的・文化的な側面で複雑な多様性を持つ地域である。その一方で、第2次世界大戦後は国家として独立し、経済的な自立を図る工業化に乗り出した。この工業化は日本を先頭に、まずは韓国・台湾・香港・シンガポールのNIEs 諸国・地域が続き、次いでASEAN 諸国が後続した。その後、中国が改革開放政策に転じて目覚ましい成長を遂げている。これらの諸国の経済成長は企業の発展成長が原動力となっているが、その中でも複数の国・地域に跨って高いプレゼンスを示してきた華人企業に焦点を当てる。

他方、華人企業に関する先行研究は、華人企業の特徴を一般化したり、特定の一カ国の華人企業を対象としたものであったり、個別の企業グループの事例研究であったりするものであった。

2. 研究の目的

本研究は、アジアで高いプレゼンスを示してきた華人企業を対象に、従来の経済学や社会学の研究成果を補完しながら、経営戦略の視点からの分析を試みる。つまり、アジアを基盤とする代表的な華人企業を対象に、経営戦略論の枠組みを適用し、各国・地域のマクロ経済環境と各華人企業家が持つ経営資源を活用した環境創造と能力蓄積という視点から捉え直ししながら、経営成果がそれら相互作用の結果として経済環境に適応する戦略構築能力から生じると仮定して、各国・地域間と各華人企業間の特徴をクロス比較分析することで、その経営的特徴を明らかにする。

3. 研究の方法

本研究の対象は、香港と東南アジア(シンガポールとマレーシアが中心)を主な対象国とし、それらの国・地域の電機・電子機械、金融・保険、建設・不動産などの主要産業に従事する華人企業を主な対象企業とする。政府の産業政策、市場ニーズの変化、各企業の企業家が持つ経営資源、および華人企業の生成から発展までの戦略構築について集中的に研究していく。加えて、ASEAN 域内統合や中国との経済連携の強化に伴う、華人企業の多国籍化の動向にも着目する。

そのため、一次・二次の文献資料を丹念に収集するとともに、毎年最低1~2回香港と東南アジア(シンガポールとマレーシアが中

心)における政府部門、華人ビジネス団体、華人企業などの現地調査を行なうことを原則とする。また、海外の研究協力者との研究会を通じて意見交換等も行う。

4. 研究成果

(1) 研究成果の概要

本研究では、アジアで高いプレゼンスを示してきた華人企業を対象に、従来の経済学や社会学の研究成果を補完しながら、経営戦略の視点からの分析を試みた。つまり、アジアを基盤とする代表的な華人企業を対象に、経営戦略論の枠組みを適用し、香港、シンガポール、マレーシアのマクロ経済環境と各華人企業家が持つ経営資源を活用した環境創造と能力蓄積という視点から捉え直ししながら、経営成果がそれら相互作用の結果として経済環境に適応する戦略構築能力から生じると仮定して、東アジア3か国・地域と各華人企業間の特徴をクロス比較分析することで、その経営的特徴を明らかにしている。

具体的には、経営戦略論と游仲勳の華人経済の発展に関する研究枠組みとを援用し、香港に加えてシンガポールとマレーシアの華人企業事例を対象として、比較検討することで、アジアの華人企業を対象に、経済環境に適応する戦略構築能力の構築について経営的特徴を明らかにした。

(2) 2011年度の研究成果

2011年度は、香港の華人企業を対象としながら、経営戦略、経済環境と市場動向、および華人企業に関する先行研究の解析と枠組みの理論的検討を、資料・文献の収集を行うと共にスタートさせた。はじめに、国内外における本研究テーマに関連する最新の研究・調査成果、重要な関連文献を収集して、整理し、検討した。香港大学、中華経済研究院、シンガポール国立大学、香港中華総商会、シンガポール中華総商会等での資料収集に加えて、華人企業の研究で著名な香港大学商学院華人管理センターDavid K. Tse センター長、中華経済研究院(台湾)の魏聰哲研究員を訪ね、本研究の進展に関わる貴重なアドバイスを受け、資料を入手した。その中で、経営戦略論の枠組みを適用し、各国・地域のマクロ経済環境と各華人企業家が持つ経営資源を活用した環境創造と能力蓄積という視点から捉え直しながら、経営成果がそれら相互

作用の結果として経済環境に適応する戦略構築能力から生じるとの研究仮定の妥当性について意見交換し、フィードバックをもらった。次に、香港を代表する企業である長江実業グループに着目し、香港経済の歴史的変遷下における戦略構築について深く事例研究を行った。香港経済は、1980年代以降に英国から中国へと統治が移行する中で英国資本が引き上げ、委託生産の製造業から不動産、運輸、金融、サービス等の第三次産業へと転換した。長江実業グループは、創業者の李嘉誠の果敢な企業家精神と独自のビジネスネットワークを駆使しながら、リスクを恐れず転換期のビジネスチャンスを掴み、プラスチック造花から不動産、運輸を中心に事業を次々と拡張させることで、経済環境に適応する戦略構築能力を蓄積したことを確認した。これらの研究発展にヒントを得て、学問の成果とその理論づけを強化するに至り、その成果を華人経済・経営研究会で報告した。

(3) 2012年度の研究成果

2011年度は、「香港における華人ネットワークの連結機能に関する研究」と「香港企業の競争能力構築と戦略策定に関する実証研究」の2つを研究テーマに研究を進めた。

まず前者は、華人の社団ネットワークの連結機能に関して、香港中華総商會を研究対象とし、その年間事業活動と理事の連結機能に着目した分析を行った。香港中華総商會では、理事が香港華商を束ねながら、「近距離交流」が盛んに行われている。華人ビジネスネットワーク内では、「関係」の規範によって、華人企業間で資源や情報の互恵的交換が行われる。香港中華総商會とその理事は、コネクター・ハブとして外地との「構造的な溝」を埋めて、「遠距離交流」の「関係」を連結する。それにより、香港外との地域間ネットワークが連結され、遠距離の「関係」を通じて香港華人企業に「近隣効果」が生まれるようになる。その結果、香港企業は、地域の企業間ネットワークを構築し、資源、資産の互恵的交換が可能となることを明らかにした。加えて、香港企業の最大手である長江実業集団を研究対象に、不動産のデベロッパー機能に着目した競争能力構築と戦略策定について、経営戦略論の視点から実証研究を行った。香港経済は、1980年代以降に英国から中国へと統治が移行する中で英国資本が引き上げ、委託生産の製造業から不動産、運輸、金融、サービス等の第三次産業へと転換した。長江実業グループは、創業者の李嘉誠の果敢な企業家精神と独自のビジネスネットワークを駆使しながら、リスクを恐れず転換期のビジネスチャンスを掴み、プラスチック造花から不動産、運輸を中心に事業を次々と拡張させることで、経済環境に適応する戦略構築能力

を蓄積したことを確認した。これらの研究成果により理論づけを強化するに至り、関連する学会や国際会議で報告を行ったほか学内誌に論文を投稿して、広く社会に公表している。

(4) 2012年度の研究成果

2012年度は、「香港経済発展下の華人企業グループの経営戦略」について研究成果をまとめて、多国籍企業学会、九州経済学会、「東亜跨国人口流動」国際学術研究会で報告するとともに、論文を投稿した。また、陳晋・守政毅(2012)『中国市場ビジネス戦略』信山社を編集するとともに、第10章を執筆した。併せて、シンガポールとマレーシアのマクロ経済環境を整理するとともに、両国の代表的な華人企業が経済環境に適応する戦略構築能力の構築をどのように行っているかを調査するため、資料収集とインタビューを実施した。

その結果、香港・シンガポール・マレーシアの華人企業は、各国・地域の経済と産業の成長構造に対して、経済環境にうまく適応しながら事業を発展させる戦略構築が観察され、それを補完する企業家ネットワークの利用、組織マネジメントといった華人企業独自のメカニズムが埋め込まれていることを明らかにした。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

- ① 松野周治、兵藤友博、今田治、守政毅、林松国、姜尚民、中国湖南省株洲市経済企業調査(2012年12月)報告、社会システム研究、査読無、第26号、2013、201-227 <http://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/ssrc/result/memoirs/kiyou26/26-11.pdf>
- ② Masaki Mori, Management Strategies of Overseas Chinese Companies and the Economic Prosperity of Hong Kong With Special Emphasis on the Cheung Kong Group, 査読無, 東亜跨国人口流動」国際学術研究会論文集, 2013, 98-115
- ③ 守政毅、中国とGMS 開発 -華人ネットワークの検討を中心にして-, 査読無、GMS 国際セミナー「ASEAN・Divideの克服とメコン川地域開発(GMS)」報告論文集、2012
- ④ 守政毅、華人ビジネスネットワークの連結機能 -香港中華総商會を中心に-, 立命館経営学、査読無、2012、第50巻第6号、1-21 <http://r-cube.ritsumei.ac.jp/bitstream/1>

〔学会発表〕（計 8 件）

- ① Masaki Mori, Management Strategies of Overseas Chinese Companies and the Economic Prosperity of Hong Kong With Special Emphasis on the Cheung Kong Group, 「東亜跨国人口流動」国際学術研討会, 2013 年 3 月 23 日, 広州(中国)
- ② 陳晋、守政毅、亞洲市場變化与華人企業戰略、亞洲華人・華僑産業研究論壇、2013 年 3 月 7 日、台北(台湾)
- ③ 松野周治、兵藤友博、今田治、守政毅、林松国、姜尚民、東アジアにおける中小企業の質的転換と日本の経験、立命館大学社会システム研究所・東アジア中小企業協力研究プロジェクト研究会、2013 年 1 月 8 日、立命館大学びわこくさつキャンパス(滋賀県)
- ④ 守政毅、香港の経済環境における華人企業グループの経営戦略—長江実業グループを中心に—、九州経済学会第 62 回大会、2012 年 12 月 1 日、熊本学園大学(熊本県)
- ⑤ 守政毅、香港の経済環境における華人企業の戦略構築—長江実業グループを中心に—、多国籍企業学会第 25 回西部部会例会、2012 年 9 月 1 日、九州大学(福岡県)
- ⑥ 守政毅、中国と GMS 開発—華人ネットワークの検討を中心にして—、GMS 国際セミナー「ASEAN・Divide の克服とメコン川地域開発(GMS)」、2012 年 3 月 10 日、立命館大学衣笠キャンパス(京都府)
- ⑦ 守政毅、華人商務网络的連接功能—以香港中華総商会为中心—、東亜専門家会議、2011 年 8 月 1 日、上海市(中国)
- ⑧ 守政毅、華人ビジネスネットワークの連結機能、多国籍企業学会第 19 回西部部会例会、2011 年 5 月 21 日、近畿大学(大阪府)

〔図書〕（計 1 件）

- ① 陳晋・守政毅編著、信山社、中国市場ビジネス戦略(第 10 章 香港の経済環境における華人企業グループの経営戦略)、2012 年、217-244

〔その他〕

ホームページ等

立命館大学 研究者学術情報データベース

<http://research-db.ritsumeit.ac.jp/Profiles/30/0002958/profile.html>

(1) 研究代表者

守 政毅 (MORI MASAKI)

立命館大学・経営学部・准教授

研究者番号：00434704

(4) 研究協力者

謝 貴枝 (DAVID TSE)

香港大学商学院 国際マーケティング学部
部長華人経営研究センター所長

古田 茂美 (FURUTA SHIGEMI)

香港貿易發展局日本本首席代表